

令和 6 年度

函館白百合学園高等学校

一般入学試験問題

国語

全コース共通

令和 6 年 2 月 15 日 (木) 実施

注意事項

1. 試験時間は 50 分です。
2. 問題は **一** から **四** まであり、13 ページまであります。
3. 答えはすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。

次の問い合わせに答えなさい。

問一 次の――線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 今回のキカクはぜひ成功させたい。
- ② 端末のキカクを統一してください。
- ③ 宿題プリントをフンシツしてしまった。
- ④ フンマツ状の薬はとても飲みにくい。
- ⑤ うつとりするほどナメらかな手触りだ。
- ⑥ あなたに全権をユダねます。
- ⑦ 志望理由書のティサイを整える。
- ⑧ あなたのスコやかな成長を祈っています。

問二 次の――線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 成長ホルモンの分泌を高めるための食事。
- ② 合格の吉報をお待ちしている。
- ③ 神社の境内で待ち合わせをする。
- ④ 休みをとるように積極的に促す。

問三 次の□に下の漢字を入れて、四字熟語をそれぞれ完成させなさい。

- ① 単□□入 ② □□即妙

意 直 一 当 長 刀 異 頭

問四 次の□に後の語を入れて、――線の慣用句を完成させなさい。

- ① 誰かが困っていたらいつでも□を貸してあげて下さいね。
- ② □を借りるつもりで元チャンピオンと対戦した。

頭 目 胸 顔 耳 肩

問五 次の意味として最も適当な故事成語を、ア～オからそれぞれ選びなさい。

- ① 始めは良いが、終わりがだめなこと。
② 文章を見直して修正すること。

ア 羊頭狗肉

イ 杜撰

ウ 龍頭蛇尾

エ 推敲

オ 破竹の勢い

問六 次の例文の――線①・②と同じ性質のものを、ア～エからそれぞれ選びなさい。

どうやら彼女①の本がなくなつた②らしい。

① 「の」

ア 塾に行くのが面倒くさい。

イ 動物園の猿山を見ているとおもしろい。

ウ 猿の世界には人間の使うような言語はない。

エ 私が担任の佐藤です。

②

「らしい」

ア あそここの学校がどうやら白百合学園であるらしい。

イ 白百合学園の森はめずらしい草花の宝庫だ。

ウ 開会式には学生らしい服装で出席してください。

エ そんなことを言うのはいかにもやさしい彼女らしいね。

次の文章を読み、後の問い合わせに答えなさい。

隣に住んでいる

すぐろくの勝ち負けの判定をするといって、いろいろ口出し

けんじよ

孝道入道、仁和寺の家にてある人と双六すうろくをうちけるを、隣にある越前坊といふ僧來たりて、見所すとて、さまざまのさかしら

をしたのを

何も言わないで

余計な口出しを途中でやめて立つて行つた。

をしけるを、**1**憎し憎しと思ひけれども、物も言はでうちゐたりけるに、この僧さかしらしさして立ちぬ。**2**帰りぬと思ひて、

家の主（孝道）

言ったところ

例の僧は

双六の相手は

亭主、「こ」の越前坊は**A**よき程の者かな」と言ひたりけるに、かの僧いまだ帰らで、亭主の後ろに立ちたりけり。かたき、また

膝を突ついたので

もの言はせじとて、**3**亭主の膝をつきたりければ、後ろへ見むきて見れば、この僧いまだありけり。この時とりもあへず、

とりあえず

越前坊（の背丈）

「越前坊は高くもなし。低くもなし。**B**よき程の者な」と言い直したりける。

（『古今著聞集』）

問一　——線**1**「憎し憎しと思ひけれども」とあるが、①だれが、②だれを「憎し」と思つたのか。①・②に当てはまる人物をア～エから
それぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 孝道入道

イ ある人

ウ 越前坊

エ かたき

問二 線2 「帰りぬ」の現代語訳として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 帰つた イ 帰らない ウ 帰つてしまえ エ 帰つてほしい

問三 線3 「亭主の膝をつきたりければ」とあるが、なぜ双六の相手は亭主（孝道入道）にこのようなことをしたのか。その理由として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 亭主に越前坊への悪口を言うより早く双六を打てと催促するため。
イ 亭主が後ろにいる越前坊に気づかず下がろうとするのを防ぐため。
ウ 亭主に双六で負けた腹いせに後ろへ転ばそうと思つたため。
エ 亭主に背後にいる越前坊の前で再び陰口を言わせないため。

問四 線A・B 「よき程の者」とはそれぞれどのような意味か。最も適当なものを、ア～エからそれぞれ選びなさい。

- ア いい加減な者
イ 素晴らしい者
ウ 勝負事に強い者
エ ほど良い者

問五 『古今著聞集』は鎌倉時代に成立した説話集だが、同じ鎌倉時代の作品ではないものを、ア～エから選びなさい。

- ア 平家物語 イ 宇治拾遺物語 ウ 十訓抄 エ 枕草子

次の文章を読み、後の問い合わせに答えなさい。

教室を出たところを呼び止められた。友だちの声ではなかつた。オトナの——教師の声だつた。**1** それだけで、どきつとする。思わず首を縮めると、ケースに入れて肩にかけていたギターがバランスをくずし、ネックが頭に当たつた。

教師に呼び止められるときは、ろくなことがない。そういう高校生活を送つていた。
二年生の一学期が、今日、終わつた。通知表の成績は惨敗さんぱいだつた。行動の評価も最低に近かつた。欠席日数の欄に括弧付きで書かれた〈自宅謹慎3日含む〉が致命的——先週のことだ。学校で煙草たばこを吸つた。みごとに見つかった。夏休みの目標は禁酒禁煙。反省文にそう書いたら、ビンタまで張られてしまつた。

まだほかにヤバいこと、やつたつけ。

マズいこと、あつたつけ。

おそるおそる振り向いて、呼び止めた主を知った瞬間、**a** ヒヨウシ抜けした

物理の富田先生とみただった。いつも実験用の白衣を羽織つて、理科教室と理科準備室からめつたに出てこない——要するに物理の授業を教えるだけの、生活指導とも進路指導とも無縁の先生だ。

「いま、呼びましたあ？」

口調も、つい、ぞんざいになる。言葉づかいがどうとか態度がどうとか、そんなことには関心のない先生だとわかつているから。

富田先生は度の強い黒縁眼鏡の奥で目を小刻みにまばたいて、「おう、帰るところじやつたか？」と訊きってきた。

見りやわかるでしようが、と言いたいところだつたし、**2** それくらいのことでは怒られないはずだつたが、そこはまあ、とりあえず、いきなり喧嘩けんか腰になることもないので、「はあ」とうなずいた。

「すまんのう、忙しいのに」

低姿勢だ。遠慮がちだ。生徒の誰に対しても、いつも、こうだ。

「いや、べつに、そげなことないですけど」

僕も——根っこは礼儀正しくて真面目まじめだ、と自分では思つてゐる。よく誤解される。真価をわかつてももらえない。スーパースターの下積み時代とはたいがいそういうものだ、と信じてゐる。

廊下は教室から出てきた生徒でざわざわと混み合つていた。明日から夏休みだ。そのにぎわいを避けるように、富田先生は廊下の端にあと

ずさりながら「ちよつとええか?」と僕を**b** テマネいた。目を神経質そうに何度もまばたいて、息を詰めるような咳払いを繰り返す。授業中

にもおなじみの癖だったが、**3** いまは、まばたきも咳払いもひときわ多い。緊張しているのだろうか。

怪訝に思いながら先生のそばに寄った。距離が詰まると、先生のまばたきはいつそう激しくなった。

「長谷川……くんは……」

いや、べつに「くん」は付けんでもええですけど。

「ギター、弾くんか?」

それこそ。見りやわかるでしようが、の話だった。

うなずいて。ギターを肩に掛け直すと、先生はつづけて言つた。

「うまいんか?」

そげなこと、いきなり訊かれても。

はあ……と、いやあ……の間で首をあいまいにかしげると、先生はさらにつづけた。

「ロックか?」

噴き出すのを必死にこらえて、「まあ、そげなもんです」と答えた。

すると、先生はまばたきを止めて僕をじっと見つめ、「ニール・ヤング、知つとるか」と言つた。

名前は聞いたことがあるが、曲は知らない。顔も知らない。ただ、ハードロックでもヘビイメタルでもないことは確かで、ホワイトスネイクとレインボーとディープ・パープルのコピーにいそしんでいる僕たちには縁のないアーティストだった。

「すみません……ようわかりません。ニール・ヤングやら」

「聴いたことないんか」

困惑しながらうなずくと、先生は見るからに落胆した顔になつて、再び目をぱちぱちとしばたたきながら、「もう時代が違うんかのう……」とつぶやいた。

時代はともかく、歳は違う。僕は一七歳で、先生はもう三十代のおっさんだった。

「今度聴いてみます」

僕はそう言つてギターをまた肩に掛け直した。さつさと話を切り上げてしまひたかった。先生がなぜ急にニール・ヤングの話を切り出したのか、気にならないわけではなかつたが、それ以上に、教師と――というよりオトナと長い話をするのが苦手だった。

じやあ、どうも失礼します、と**c** 会釈して立ち去ろうとしたら、また呼び止められた。

「のう、長谷川くん……ギターいうたら、どれくらい練習すりやあ弾けるようになるんか」

せきばら

「**4**はあ？」

「教室に通うて習うたわけじやなかろうが、長谷川くんも」

「ええ……まあ……」

「ほな、センセが一所懸命練習したら、どれくらいで弾けるようになる？」

「どれくらいいうか……才能と、あと、努力と違いますか」

「才能」のところで、一瞬、先生は気弱な顔になつた。だが、「努力」とつづけたせいで、表情が立ち直る。

「努力するよ、センセ」

「**5**はあ……」

どうぞ、ご自由に。

それで話は終わるはずだつた。「がんばつてください」とせめてもの気づかいの一言添えて、そのまま立ち去るつもりだつた。ところが、先生はまた目を見開き、僕をじつと見つめて言つたのだ。

「それで、すまんが……長谷川くん、夏休みの間にセンセにギターを教えてくれんじやろうか」

「**6**あざんとする僕に、つづけて——」。

「ニール・ヤングが弾けるようになつたら、それでええんよ。一曲でもええ。センセの好きなん、夏休みのうちに一曲だけ弾けるようにしてくれんか」

生徒に冗談を言うようなひとではない。そもそも、物理の授業に関係の**6**ない話など、今まで一度も聞いたことがなかつた。

だから——**7**——と思つた。

(重松清 『白髪のニール』)

※設問の都合上、漢字などの表記を改めました。

問一 線部**1**とあるが、「僕」がそう感じる理由を説明した次の文章の空欄に入る適切な言葉を、本文中から書き抜きなさい。

「①六字」も「②五字」もよくない「僕」は、教師に呼び止められると「③八字」と思っていたから。

問二 線**2**とあるが、「僕」がそう思つた理由を二点、それぞれ「富田先生は、」という言葉で始め、四十字程度で書きなさい。

問三 線**3**とあるが、それは「富田先生」が何を考えていたからか。その考えを言った「先生」の言葉の最初の五字を書き抜きなさい。
(ただし、カギ括弧は除く)

問四 線**4**、**5**の「はあ」について説明したア～エの文で、最も適当なものを選びなさい。

ア **4**は、「富田先生」の意外な言葉に「僕」が驚き、どう対応していいか分からなくなつて発した言葉である。一方、**5**は、「富田先生」の身勝手であつかましい言い方に「僕」が気押され、どう対応していいか分からなくなつて発した言葉である。

イ **4**は、「富田先生」の強引なお願いに「僕」が驚き、どう対応していいか分からなくなつて発した言葉である。一方**5**は、「富田先生」の身勝手であつかましい言い方に「僕」が気押され、どう対応していいか分からなくなつて発した言葉である。

ウ **4**は、「富田先生」の意外な言葉に「僕」が驚き、どう対応していいか分からなくなつて発した言葉である。一方**5**は、「富田先生」のあまりに真面目な言い方に「僕」が気押され、どう対応していいか分からなくなつて発した言葉である。

エ **4**は、「富田先生」の強引なお願いに「僕」が驚き、どう対応していいか分からなくなつて発した言葉である。一方**5**は、「富田先生」のあまりに真面目な言い方に「僕」が気押され、どう対応していいか分からなくなつて発した言葉である。

問五 線**6**の「ない」と同じ品詞・同じ性質のものを、ア～エから選びなさい。

ア 彼はまだ若く、収入が多くない。
イ 荷物がなかなか家に届かない。
ウ 近所の公園にはゴミがない。
エ もつたいない言葉をちようだいする。

間六 【**7**】に入る言葉として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 冗談だ イ 本気だ ウ 半ば冗談だ エ 半ば本気だ

間七 線とあるが、「根っこは礼儀正しくて真面目」な「僕」の性格は、どのようなところに表れているか。これより後の場面から、その具体的な行動を探し、簡潔に説明しなさい。

間八 線**a**～**c**の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に改めなさい。

次の文章を読み、後の問い合わせに答えなさい。

ゲームマニアのあいだでは、攻略がきわめて困難なゲームは「無理ゲー」と呼ばれる。だとしたら **1** いま、多くのひとたちが「無理ゲー」に放り込まれてしまつたかのように感じているのではないだろうか。

「無理ゲー」とはなにかの話を始める前に、「公平（**1** 平等）」と「平等（**1** **3** 平等）」を定義しておこう。この **4** 誤用・誤解が、格差についての議論をいたずらに混乱させているからだ。ここではそれを **50** メートル競走で説明してみよう。

「公平」とは、子どもたちが全員同じスタートラインに立ち、同時に走り始めることだ。しかし足の速さにはちがいがあるので、順位がついて結果は「平等」にはならない。

それに対しても、足の遅い子どもを前から、速い子どもを後ろからスタートさせて全員が同時にゴールすれば結果は「平等」になるが、「公平」ではなくなる。

ここからわかるように、能力（足の速さ）に差がある場合、「公平」と「平等」は原理的に両立しない。

このようなとき、5歳の子どもであつても、（足の速い子が1等になる）不平等を容認するのに対し、（足の遅い子が **a** ユウグウされる）不公平は「ずるい」と感じることがわかつてている。ひとびとが理不尽だと思うのは「不平等」ではなく「不公平」なのだ。

富の分布の不均衡が社会的な混乱の原因なら、20兆円を超える資産をもつイーロン・マスクは世界じゅうから*罵詈雜言を浴びてはいるはずだが、5700万を超えるツイッターのフォロワーの反応は圧倒的に賞賛と応援だ。これは **5** ひとびとが、「グローバル資本主義」が生み出すある種の不平等を受け入れていてことを示している。

6 だったら、格差のなにが問題なのか。

ひとつは競争の条件が公平ではないと感じているひとがいることだ。

アメリカでは、奴隸制の負の遺産によつて黒人に不公平な機会しか与えられていないとされる一方で、それを **b** 是正するためのアフラー・マティブアクション（積極的差別是正措置）によつて、白人労働者が不公平な競争を **c** 強いられていると主張するひとたちもいる。両者の意見は折り合わないだろうが、自分たちが不公平の「犠牲者」ということでは一致している。

もうひとつは、競争の結果は受け入れるとしても、自分がその競争をさせられるのは理不尽だと考えるひとが声を上げはじめたことだ。

私がテニスで錦織圭と、将棋で藤井聰太と競えば、100回やつて100回とも負けるだろう。私はその結果を不公平とは思わないが、自らの意思に反してそのようなゲームを強いられたことはとてもなく理不尽だと感じるに違いない。

このようにして、右からも左からも、自分たちは攻略不可能なゲーム（無理ゲー）に同意なく参加させられているとの不満が噴出するよう

になつた。

*罵詈雑言・口汚いののしり言葉。

(橘玲 『無理ゲー社会』)

※設問の都合上、漢字などの表記を改めました。

問一――線**1**とあるが、筆者は山田太郎参議院議員がSNSで募集した「不安」についての投稿をいくつも紹介しているが、ア～エの中で、全文を踏まえた上で、筆者が紹介する投稿として不適当なものを見出せます。

ア 非正規雇用労働者、いわゆる派遣社員です。月収手取り十四、十五万で、三十代後半です。とにかく貧しいです。このまま非正規で一生過ごすのかと思うと気が気ではありません。

イ 母になりたいとは思つても、産んで育てて大学まで出すという資産のイメージがどうやつても立ちません。正社員で働いていても先が見通せません。

ウ 来月、結婚するんですけど、この人で本当にいいのか、今になつて期待や満足感より、不安の方が大きくなつてしまっています。お互い相性はいいと思つてるんですけど……。

エ 正直、将来に対する不安が多様で大きすぎて、いまの社会では結婚して子どもを産みたいとも思えません。

問二 【 2 】及び【 3 】に入る漢字二字の言葉を、それぞれ書き抜きなさい。

問三 線**4**の例として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 試験の点数で、評価が分かれるのはよくないから、一学期はとりあえず全員に「3」をつけることにした。

イ 試験の点数だけでは評価できないから、課題の提出や授業への取組みも評価に組み入れることにした。

ウ 教師の主観的なものをできるだけ排除し、客観的に現れる試験の点数、課題の提出で評価を出すことにした。

エ 五段階の評価では、生徒自身が自分の相対的な位置を把握できないので、十段階で評価をつけることにした。

問四 線**5**とあるが、その理由を五十字以内で述べなさい。ただし、次の三つの語句を必ず使うこと。

競争	不均衡	不公平
----	-----	-----

問五 線**6**とあるが、筆者が「格差」の問題として挙げていることを二点、本文中の表現を用いて書きなさい。

問六 線**a**～**c**の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に改めなさい。

一般入試

令和六年度 函館白百合学園高等学校入学試験

国語

解答用紙

受験番号

氏名

得点

一

問一

①

らかな

②

ねます

③

やかな

二

問一

①

す

問二

④

す

問三

⑤

す

問四

⑥

す

問五

⑦

す

問六

⑧

す

小計

三

問一

①

②

③

小計

問二

富田先生は、

富田先生は、

40

問三

富田先生は、

富田先生は、

40

問七

小計

問八

a

b

いた

c

小計

四

問一

2

3

問二

50

問五

小計

問六

a

b

c

ひらがで

一般入試

令和六年度 函館白百合学園高等学校入学試験

国語 解答用紙

受験番号
氏名

得点

一

問一	企画	規格	紛失	粉末
問二	滑	委	体裁	健
問三	ぶんひつ	きつぽう	けいだい	
問四	うながす			
問五	肩	工	刀直入	当意
問六	胸			即妙
問七				
問八				
問九				
問十				

各①点 問三は完全解答

20

二

問一	ア	ウ	ア	ア
問二			ア	ア
問三			工	ア
問四				A
問五				B
問六				
問七				
問八				
問九				
問十				

小計
11

三

問一	通知表の成績	行動の評価	ろくなことがない	②×3
問二	富田先生は、物理の授業を教えるだけの、生活指導とも進路指導とも無縁の先生だから。の、生活指導とも			
問三	富田先生は、生徒の誰に対しても、いつも、低姿勢で遠慮がちだったから。			
問四	それで、す	ア	ア	
問五		ウ	ウ	
問六		イ	イ	
問七	る。「努力するよ、センセ」という「富田先生」の言葉に対し、「がんばってください」とせめてもの気づかいで一言添えようと思ったところ			⑥
問八	a 拍子	b 手招	えしゃく	①×3
問九				
問十				

小計
39

四

問一	ウ	ア	ア	ア
問二	機会	結果		
問三	2	3	ア	ア
問四	自由な経済競争の下で、結果として富の不均衡が生じたとしても、それを不公平だとは思わないから。			⑥
問五	競争の条件が公平ではないと感じているひとが多いこと。			
問六	競争の結果は受け入れるとしても、自分がその競争をさせられるのは理不尽だと考えるひとが声を上げはじめたこと。			⑥
問七				
問八				
問九				
問十				

小計
30